

「未来の学術振興構想」の審査・評価プロセスに関する項目ごとの主な意見等

【1. 「未来の学術振興構想」改訂版（仮称）の審査・評価の担当組織】

- ・各グランドビジョン×2名程度＝40人程度の小委員会とし、各グランドビジョンの改訂についての査読をお願いする。追加募集については、この40人を大きく4グループに分ける前回並みの方法を踏襲する。ただし、前回はグランドビジョンごとに人数が違ったので、調整が必要である。また、会員入れ替えへの対応やバランス調整も考えておく必要がある。また継続性の観点からは、新規の方を各グランドビジョンでプラス1名ということも考える必要があるかもしれない（第4回分科会）
- ・各グランドビジョン3名程度、分科会委員がそれぞれのグランドビジョンに監督的立場として1名以上は入る（第6回分科会）
- ・前期は小委員会委員を4つのWG（人文・社会科学、生命科学、理学・工学、分野融合）に分けて審査していたが、今回はまず委員を19のグランドビジョンに分け、グランドビジョンを基に4つのグループに分けてもよいか（第6回分科会）

【2. 審査・評価プロセス】

- ・前回、特に、非掲載とした提案の再提案や評価の低かった提案の改訂については、本来であればフィードバックをかけたい（第3回分科会）

<応募区分Ⅰ：追加募集>

- ・前期は結果としてヒアリングを実施しなかったが、今期はやる必要があるか否か。提案者とのやり取りを今後考えていく必要がある（第3回分科会）

<応募区分Ⅱ：前期掲載の「学術の中長期研究戦略」の改訂>

- ・各提案のアップデートがあった場合に本当によくなっているのか、新しく提案のあった場合にそれが前回と同水準にあるということをどう評価するかということが難しい（第3回分科会）
- ・改訂案件については、修正した部分のみをチェックするということによいのか（第5回分科会）

【3. 「グランドビジョン」の具体化に向けたプロセス】

- ・提案者から、このグランドビジョンに属すると提案があった場合にそれが妥当かどうかをどう判断するか。また前期は複数のグランドビジョンに属するものがあったが、今回はどうするのか（第3回分科会）
- ・提案者が選択しているグランドビジョン担当の人が読み進めつつ、同時並行してキーワードとのマッチングやクラスター分類でふさわしいグランドビジョンかどうか確認するか（第6回分科会）

【4. 守秘義務と評価の非公開審議について】

特に意見なし

【5. スケジュール】

- ・ 下記内容を分科会において確認し、改訂方針にも記載

2025 年 10 月 1 日（水） 公募締め切り

2025 年 11 月頃 「学術の中長期研究戦略」評価及び「グランドビジョン」検討を開始

2026 年春頃 「未来の学術振興構想」改訂版（仮称）（案）取りまとめ

2026 年夏頃 「未来の学術振興構想」改訂版（仮称）公表